

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学部	システム理工
・ 学科(コース等)	環境システム
・ 学年(渡航開始時)	3年後期
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	スイス
・ 都市名	ローザンヌ
・ 留学先大学名	EPFL
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2022年9月上旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2023年2月上旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	環境システム学科で、建築や都市計画を専攻していたので、ヨーロッパの都市を見て回りたいという思いからヨーロッパの大学を選びました。その中でもスイスという国を選んだ理由は、ロシア情勢に不安がある中で、治安がいいからです。さらに、EPFLはキャンパス内に日本人建築家が立てた建物が2つもあったことに魅力を感じました。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探 したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に 取り終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することが できたため、等)	国際プログラムに在籍していたため。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

SITでの専攻が建築と都市計画だったため、留学先でも建築学部在籍し都市計画を専攻しました。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Studio BA5 (Vigan ò)	単位数 (現地単位数)	10
科目概要	毎週月曜日と火曜日の丸一日を、講義や話し合いや現地実習やエスキスに使われた。大学からメロで5駅ほどの湖沿いの公園を周辺の住居環境も考慮しながら、都市計画を進めていった。今までにない広域の計画だったし、マスターの学生もいたので学ぶことが多くあった。ただ、週明けにエスキスがある時は週末に集まって作業をする負担は大きかった。また、現地語がフランス語のため、時々教授とTAがフランス語で話し合いをされると理解できなかった。		

科目名②	Technologies for democratic society	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	毎週講義があったが、オンラインでも受講できた。実際に社会でも使われている事例を基に授業が進んでいくため、新たな発見があり興味深かった。		

科目名③	France	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	毎週金曜日に授業があったが、それだけでは学習時間が足りないので週に1回は語学学習センターに行ってオンライン教材で補填をしていた。会話中心で、生徒が積極的に参加していた。毎回の課題はポータルサイトに掲載され、単語やリスニングを磨くことができた。		

科目名④		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

部活やサークルには所属していませんでした。また、地元の家族の家の一部屋を借りていたので、寮に住む生徒と比べて同じ大学の学生と知り合う機会は少なかったです。そのため友達とは、授業で仲良くなったり、Tandem という語学交換学習のイベントで知り合ったりしました。Tandemでは、私は日本語を教えて、相手にはフランス語を教えてもらっていましたが、マッチングの相手によっては机に向かって学習するだけでなく、遊びに行き英語で会話をしながらお互いの文化を知ることができました。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。（当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。）

腰ポーチの購入をお勧めします。そこにパスポートとクレジットカードと現金を入れて、服の下に常に身に着けていました。薄いものだけを入れていたため、上から服を着てもポーチを隠せたため、旅行の時も安心して行動できました。日本の面白い文房具は、話題の種になりました。折りたためるはさみを持っていったら、貸すたびに友達が使え方がわからないと楽しそうに笑ってくれました。大学に売っているEPFLのボールペンもMade in Japanでした。素材や形にこだわった筆箱やかわいい消しゴムや、面白い形のクリップを持っていくと友達ができるかもしれません。発見したことはヨーロッパ人の生き方が日本とは異なることです。同じ都市計画の授業を受けている友達もホストマザーも人生における優先順位を明確にして生きていました。友達は演習の課題が忙しくて切羽詰まっているときに"Enjoy your life"と言って、自分の時間をとることを最優先にしていると励ましてくれたし、ホストマザーも平日に仕事があっても週末はダイビングに行くように自分のやりたいことを最優先に生きてました。夜になるといつも暖炉に火をともし、キャンドルに火をつけて、紅茶をゆっくり飲んでいる余裕のある雰囲気が好きでした。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）
（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

スイスの場合はビザは必要なく、現地で滞在許可書を申請しました。日本国籍の場合、シェンゲン協定国に滞在できるのは90日間ですが、90日を超えても滞在許可証が発行されず、何度もカントンに問い合わせたり、国際部の方にも連絡を取りました。結局、その1週間後に滞在許可証の顔写真の撮影案内が来て、さらに1週間後に郵便で滞在許可証が届きました。

滞在先の宿泊施設などの情報（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

- 宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

ホームステイ(地元の家族の一部屋を借りている。食事は別。)

協定校が提供しているポータルサイトに、地元の方が貸してくれる部屋の情報が載っていました。価格や期間にあった物件を見つけて自分でメールで連絡を取って、ZOOMで部屋を見せてもらい個人で契約を結びました。私は、学校の寮の抽選から外れたため自力で探しましたが、個人間での契約は危険を伴うので避けたほうがいいと思います。ただ、Facebookよりも大学のポータルサイトで探したほうが、安心はできたと思います。

電車とバスを乗り継ぎ

バス、電車、メトロの順に2回乗り換えをして50分

ホストマザーとホストブラザーと犬2匹と住んでいて、温かい家でした。いつも私のことを気にかけてくれるし、地域の料理や文化を直接肌で感じる事ができた点がホームステイのいいところだと思います。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥200,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥80,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥22,000	在許可証の申請費用
計	¥302,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥65,000	CHF450
食費/月	¥20,000	
その他/月	¥40,000	旅行代
計	¥125,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	スイスは物価が高すぎて、学内奨学金だけでは足りません！
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

EPFLのロゴの隣には日本の建築家ユニットSANAA
が手掛けたRolexLearningCenterがある。その背後
にはアルプス山脈とレマン湖も見えそうです。

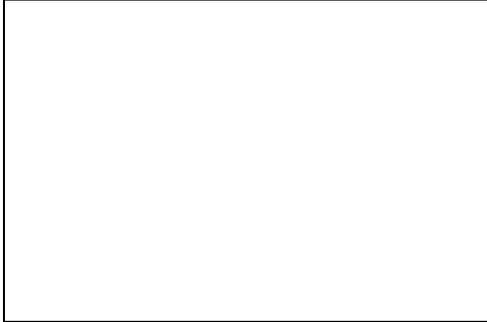
宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

丘の中腹にある街に住んでいたため、窓からはレマン
湖が見えました。

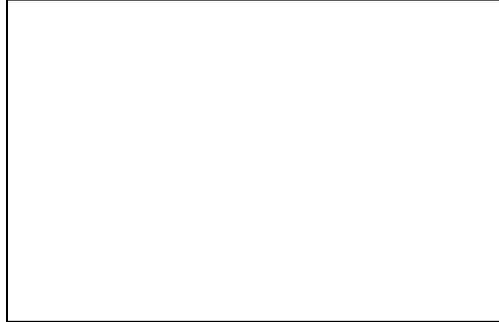
その他、任意の写真



説明文



その他、任意の写真



説明文

